

平成26年9月 子どもの傷について

苦情の内容・経過

年長児の保護者から、足の指に傷があることを子どもが訴え、同じクラスの園児に踏まれたためと話す。保育園からの説明が無かったことに説明を求めてきた。

担当児保育士に確認したところ、自分でブロックを踏んだと説明があったとのことで、他の子とのトラブルと認識していなかった。また降園時、保護者にその傷の説明を失念してしまった。

解決結果

足の傷のことをしっかりと認識せず、説明を怠ったことを保護者に謝罪する。

職員間で、傷の位置が自分でしてしまったケガか、不自然でないか確認することの大切さ、子どもは他のお友達を配慮して事実と違うことを話すことがあることを理解し、注意することを確認する。年長児にも正直に話すことが大切であることをお話する。

第三者委員への立会い・報告の可否 否